専門調査部会（中学校　保健体育）議事録　　記録者（植村）

令和２年６月２６日（金）　教育センター　２０８室

１３：４０～　全体会（部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等）
１３：５０～　選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究
１４：１０～　各自の調査研究の読み上げ
　　協議：司会（主幹教諭）

【東京書籍】
・　それでは、東京書籍について「選定の観点ごと」に発言をお願いする。
・　まずは、内容の範囲及び程度について。
・　内容の範囲は適切である。
・　単元ごとの内容の掘り下げ方が適切である。
・　ストレスへの対処に関して、多様化するストレスの現状に応じた対処法にもう少し幅を持たせてもよいと感じた。青少年期のストレスは、現在、大人のそれと変わらない部分もあるため、もう少し掘り下げてもよいと感じた。

全員（合意）
・　では次に、内容に関する配慮事項について。
・　各章末に資料ページを設けており発展的な学習を行う上で非常に詳しく掲載されている。
・　ストレスの対処法や応急手当の方法など紙面だけでは足りない部分をコンテンツにつなげるなどの工夫がなされている。
・　章末資料が充実しており、健康についての課題解決につながる内容が多い。
・　マークの種類が多すぎて、わかりづらい面がある。
・　目次の体育分野・保健分野の記載順が学習指導要領と逆であるためややわかりにくい面がある。
・　保健分野の章立てが逆になったりしているため、系統立てた指導が行いにくい面が見られる。
・　学習の流れを示すラインに沿って、「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」の４つのステップの配置が分かりにくい。
・　では、分量について。
・　分量は、適切であるが、やや文字の分量が多い。

全員（合意）
・　では、使用上の便宜について。
・　インターネットコンテンツとの連携・活用が、明確になっている。今後、現場では、タブレット端末などの使用が広がりを見せるため、対応が工夫されている。
・　指示マークなどが、統一されどの単元も、学習を進めやすい工夫がされている。
・　各章によってタグの色分けがはっきりと行われ、表題の文字を大きく同色であらわすなどの工夫がなされている。
・　心肺蘇生法の手順が縦と横に読んでいくために少しわかりにくい。
・　アンケート結果など、調査年未掲載があり、資料の信憑性に欠けている。（例えば、p. 28 資料１　p. 29 資料２）

・　保健分野の２年生３章、４章、３年生５章、６章の配列が逆になっているため系統立てた指導につながりにくい。
・　データに、地域の偏りがある。
・　では、印刷・製本等について。
・　章ごとの色合いが統一され、落ち着いていて見やすい。
・　イラスト、文字の大きさ、字体、行間など、見やすくわかりやすい。
・　「課題の解決」「広げる」等の学習の柱となる文字については、もう少し目立つ色合いのほうが良い。
・　色合いは落ち着いているがその分インパクトに欠ける。
・　口絵の写真が、興味を引く内容に見えない。
・　文字が強調されているが、目立たない語句がある。
・　では、選定の観点について。
・　自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっている。
・　「教科書の使い方」「保健体育の学習方法」が説明されており、授業を進めやすくなっている。
・　章のはじめに小学校・中学校・高校で学習することが明記されており、系統性のある指導ができる内容になっている。
・　男子の生殖機能の発達、女子の生殖機能の発達と大きな文字で見出しとなっており、性の多様性について、触れているがもう少し掘り下げたほうがよい。
・　オリンピック、パラリンピックの内容についての記述が少ない。
・　ＳＤＧｓに関する記述が少ない。

【大日本図書】
・　では、次に大日本図書。内容の範囲及び程度について。
・　内容の範囲は適切である。
・　資料の分量が豊富で、特に章末資料は学習内容を広げて知識を深められるように工夫されている。
・　スポーツの多様なかかわり方については、もう少し堀り下げてもいい感じである。
・　性情報などへの対処では、より具体的なＳＮＳ上のトラブルや危険度を明示した方がよい。

全員（合意）

・　次に、内容に関する配慮事項について。
・　目次や口絵１で３年間の履修内容が系統的に整理されていてわかりやすい。
・　それぞれの単元で「主体的・対話的で深い学び」を促すように紙面構成に配慮されている。
・　各章末のまとめに「重要な言葉」の説明が示されてあり、学習内容の整理がしやすくなっている。
・　学習活動の内容については、１単位授業内で収まらない活動・作業量があると感じた。
・　言語活動の能力の育成を図る活動が、話合いや対話だけになっている。
・　では、分量について。
・　災害に関する学習部分は、もう少し取扱い範囲を深めたり、広げたりが必要と感じる。毎年の、全国の被災状況から、喫緊の課題や避難に対する知識の習得が必要と感じている。

全員（合意）

・　では、使用上の便宜について。
・　本文中の語句説明が、本文の下部にまとめてあるのが、見やすくてよい。

・　各章の「学習のまとめ」として〈重要な言葉〉がまとめられており非常に丁寧でわかりやすい。
・　保健体育の見方・考え方を働かせて深い学びにつながるようになっている。
・　「WEB」や「AR」などデジタルコンテンツが充実しているが、現時点では活用しづらい。
・　写真・資料と本文のバランスから見ると、文章の部分がやや少ない感じがする。
・　重要な語句（キーワード）のまとめが、見開きの最後に提示されている。できれば、導入部の探求意欲のきっかけづくりとして、見開きの左上配置がいいと考える。
・　章末に学習した内容を振り返る（まとめ）問題が「WEB」上にあり、手軽に取り組みにくい。
・　では、印刷・製本等について。
・　レイアウトもよく考えられコンパクトにまとめられており、ページ数が少なくなっている。
・　左ページに本文、右ページに資料と、レイアウトがわかりやすい。
・　色鮮やかで色使いも適切で目を引くデザインになっている。
・　口絵の写真が鮮明で、生徒の興味や関心を引き出す内容になっている。
・　文字間が狭く、漢字が多く使われているため、目で見て理解するには配慮が足りない。
・　写真や資料等の色使いが、馴染めない。コントラストがきつい感じがする。
・　本文と資料が見開きページで完全に分かれ整理されているが授業を進めていく流れの中では参照にしにくい。
・　では、選定の観点について。
・　校種間、教科間、家庭・地域との連携が図りやすく工夫してあり、系統性のある指導ができる内容になっている。
・　１単位時間の授業の流れや保健体育の学び方に関する記述やイラストがわかりやすい。
・　オリンピック、パラリンピックの内容に関する記述や写真がわかりやすく、系統立てて理解することができる。
・　感染症についての内容が少なく、感染経路についての記述がない。
・　ＳＤＧｓに関する記述がない。

【大修館書店】
・　続いて、大修館書店。内容の範囲及び程度について。
・　内容の範囲は適切であるが、本文と資料の割合・バランスが悪い。また、資料が多すぎる。

全員（合意）
・　では次に、内容に関する配慮事項について。
・　「章のまとめ」の問題では「知識・技能の確認問題」や「思考・判断・表現の問題」と表記しており、観点別評価を考慮した構成になっている。
・　クローズアップ「学びを広げよう、深めよう」は、道徳等と関連付ける内容になっている。
・　資料の中に吹き出しのコメントや、思考のヒントとなる記載があるため、生徒の思考が高まるよう工夫されている。
・　生徒が学習内容を確実に身につけることができるように、学習のまとめとして章末問題が十分に確保され、観点別でわかりやすくなっている。
・　重要な語句（キーワード）のまとめが、開きの右上に提示されている。できれば、導入部の探求意欲のきっかけづくりとして、開きの左上配置がいいと考える。
・　では、分量について。

・　分量は、適切である。
・　資料が比較的新しいものが多く、わかりやすい。
・　単元によって、本文が少ないように感じたが、資料をふんだんに盛り込み、資料から読み取ることができるようになっている。

全員（合意）

・　では、使用上の便宜について。
・　章のまとめ資料がわかりやすく、学んだことを振り返る内容になっている。
・　「課題をつかむ」「きょうの学習」「学習のまとめ」が同じ場所に配置されていて、見やすく扱いやすい。
・　章末問題等が別にあるため、見開き２ページを１単位時間で完結する構成内に、記述できる課題はワークなどを併用するため不要と感じる。ワークを使用しない場合は、有効である。
・　資料によっては、使い方の方向性に制限がかかるものがあり、説明が行いにくい。
・　学習の流れである「課題をつかむ」⇒「まとめ」の間に、主体的な思考・判断・表現に結びつくような、調べたり活用したりといった柱が欲しい。
・　見出しの言葉がわかりにくい。
　（生殖にかかわる働きの成熟、欲求とその充足など。）
・　文字が少なく、写真が多く、内容を理解するのに、説明が不足している部分がある。
・　では、印刷・製本等について。
・　口絵の写真が鮮明で、生徒の興味関心を引き出す内容になっている。
・　資料や図、表、イラストがカラフルで見やすい。色合いも落ち着いている。
・　本文と資料・写真等の配置が、単元によって違うところがあるため、配置はそろえた方が良い。
・　食物を提示する部分は、イラストよりも、出来る限り写真の方が伝わりやすい。
・　本文中の太文字はわかりやすいが、見出しの書体が印象に残りにくい。
・　では、選定の観点について。
・　日常生活における体育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっている。
・　感染症について、説明がわかりやすく、喫緊の課題であるマスクについてのコラムなどの記述もあり、授業で活用しやすくなっている。
・　章のはじめに小学校・中学校・高校で学習することが明記されており、系統性のある指導ができる内容になっている。
・　応急手当の技能に関する内容が、写真と絵を効果的に示されており、具体的で指導しやすい内容になっている。
・　ＳＤＧｓに関する取扱いが充実している。
・　心肺蘇生法の流れがわかりにくい。
・　免疫のしくみについてのイラストがわかりにくい。
・　災害と環境についての内容が少ない。
・　高等学校への移行について、考慮が少ない印象があった。

・　本日は、ここまで。次回は、学研教育みらいを中心に研究調査を行い、まとめていく。また学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていく。

令和２年７月６日（月）　教育センター　２０８室

１３：４０～　選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究
１３：５５～　各自の調査研究の読み上げ
協議：司会（主幹教諭）

【学研教育みらい】
・　では、学研教育みらい。内容の範囲及び程度について。
・　内容の範囲は適切である。
・　ストレスへの対処法については、多様化するストレスに、幅広く対処する提示が工夫されている。
・　性情報などへの対処では、より具体的な SNS 上のトラブルや危険度を明示してほしい。
全員（合意）
・　次に、内容に関する配慮事項について。
・　「課題をつかむ」⇒「考える・調べる」⇒「まとめる・深める」といった一連の学習の流れが明確で、主体的に、思考・判断し、適切に振り返ることができる仕組みが良い。
・　「もっと広げる・深める」、「探究しようよ」が丁寧で豊富な内容になっている。
・　それぞれの単元で「主体的・対話的で深い学び」を促すように紙面構成に配慮されている。
全員（合意）
・　では、分量について。
・　やや分量が多いが、内容が充実している。
・　単元によっては多いと感じるところもあるが、概ね適切な分量である。
・　「もっと広げる・深める」、「探究しようよ」が丁寧で豊富な内容になっているが授業の中ですべてを取り扱うには分量が多い感じもする。
全員（合意）
・　では、使用上の便宜について。
・　本文に関連して提示している資料や写真が、現在の社会生活の中で、より身近にあるものが多く使われていて良い。
・　見開きで１単位時間の授業の流れを考えた構成が、使用しやすい。
・　イラストや図表・グラフ等は学習を進める上で、関連をもたせるように配置され、活用しやすくなっている。
・　身近な事例が多く取り上げられており、興味をひく内容になっている。
全員（合意）
・　では、印刷・製本等について。
・　文字サイズや写真などの配置や色合いが落ち着いていて、見やすさが丁度よい。
・　文字などで強調される部分の太字や指示マーク等が明確でよい。
・　ページの幅が広くなっており文字が大きく文字間も空いているため見やすい。
・　落ち着いた色合いで見やすく、注目させたい内容がしっかりと目に留まる色遣いになっている。
・　イラストや資料等が多く、生徒の興味関心を促す内容になっている。
・　ページ数が多く、重量感がある。
・　口絵の写真のインパクトがない。

・　では、選定の観点について。
・　学習内容をキーワードごとに再整理して教科等横断的な関連をし、カリキュラムマネジメントにつながる工夫がしてある。
・　「探究しようよ」の活用により、授業内容を深化・発展できるようになっている。
・　オリンピック、パラリンピックの内容に関する資料がまとめられており、わかりやすい。
・　「最前線を知る」で最新の情報や、大切なポイントがわかる。
・　章のはじめに小学校・中学校・高校で学習することが明記されており、系統性のある指導ができる内容になっている。
・　他者と比較して、ＳＤＧｓに関する取扱いが特に充実している。
・　感染症についての取り扱い内容に深みがないので、もう少し掘り下げてほしい。
・　性の多様性について、ＬＧＢＴの言葉の解説が脚注記載（p. 43）に留まっている。用語のおさえのみで完結している。

【学校・市民からの意見について】
・　続いて学校からの意見について検討していく。特に全体に取り上げた方がよいものを挙げていただく。まずは、読み取る時間をとる。

・　では、東京書籍から学校から出ている意見をお願いする。
・　学校からの意見としては、まず、実習における説明では、写真や図と文字説明が分離している部分が多いため、少し分かり辛いという意見。
　ストレスへの対処について、イラストや言葉で分かりやすく説明しているという意見があった。
全員（合意）
・　他教科との横断的な繋がりがありよいという意見があった。
全員（合意）
・　大修館書店については、ＵＤフォントを使用しており、本文の文字の大きさが、適切であるという意見。また、体育理論の資料やイラストがわかりやすく、内容が充実しているという意見。
全員（合意）
・　学研教育みらいについては、章末問題が少ないという意見。また、インターネットやデジタル教材にアクセスできるようになっているが、使い勝手が悪いという意見があった。
　「章のまとめ」では観点別による自己評価と問題、課題などで構成されているが、１ページにまとめられており利用しやすいという意見。文字のフォントが大きくなり、見やすくなっているという意見があった。また、表紙、裏表紙が保健体育と結びつきにくい印象であるとの意見もあった。
全員（合意）
・　続いて、市民からの意見について検討していく。すでに、私たちの意見、学校からの意見として出ているものもある。別の視点からの意見について取り上げてはどうか。まずは、読み取る時間をとる。

・　「性の多様性」について全者意見が出ているので、取り上げてはどうか。
全員（合意）

・　では、「性の多様性」についての市民の意見をまとめる。
東京書籍については、Ｐ４４　「性の多様性」で記載があるという意見。
大日本図書については、Ｐ３８　「個性や能力を大切にする」側中記載があるという意見。
大修館書店については、取扱いが、特に見られないという意見。
学研教育みらいについては、Ｐ４３　ＬＧＢＴの言葉の解説が脚注記載。用語のおさえのみで完結しているという意見があった。

全員（合意）

・　以上で４者全ての協議が終わった。では、報告の整理に入る。

１６：００～　　大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。

１６：２０～　　印刷・確認　→　修正

１６：４０～　　鑑文に押印・片付け

１７：００　　終了

専門調査部会（中学校技術・家庭科　技術分野）議事録　　記録者（石川）

令和２年６月２４日（水）　教育センター　２０６室

１３：４０～　全体会（部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等）
１３：５０～　選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究
１４：１０～　各自の調査研究の読み上げ
　　協議：司会（教頭）

（１）内容の範囲及び程度

・　各者の「選定の観点（１）内容の範囲及び程度」をそれぞれ確認ください。３分後議論を始めたいと思います。
　では、いま目を通していただいたところで始めたいと思います。２３ページの観点ア、イ、ウに沿って話を進めていきましょう。

【東京書籍】

　まずは、東京書籍について議論を進めたいと思います。（１）内容の範囲、程度についてですがご意見はございますか。

・　基本的に教科の目標に結び付く内容になっていると思いました。また、学習指導要領に示される内容項目についてもきちんと取り上げられており、内容の程度も生徒の発達段階に適していると思います。
・　今の意見について、ご意見、ご質問はありますか。
　特にないようですので、続けてさせていただきます。ウの観点ではいかがでしょうか。
・　「社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の３つの要素を学習しやすいように段階的な配列に工夫されていると感じました。
・　今の意見について、ご意見、ご質問はありますか。なければ、今の意見を整理して記述させていただきます。

【教育図書】

・　ありがとうございました。続いて、教育図書の（１）について見ていきたいと思います。いかがでしょうか。
・　全者ほぼ同じつくりになっていると思いますが、特に教育図書については「社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の３つの要素を学習しやすいように段階的な配列になっています。
・　内容の範囲や程度については、教科の目標達成に結び付く内容になっていると思います。

【開隆堂出版】

・　他にありますか。なければ開隆堂出版に移りたいと思います。ご意見をお願いします。
・　開隆堂出版は、とくに生徒の生活体験に配慮されていること、それに伴い授業時数など学校事情や生徒の実態にも弾力的に対応できるように工夫されていると思います。
・　内容の程度も生徒の発達段階に適応していると思います。どの内容も基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されていると思います。
　他にございますか。なければ、（２）内容に関する配慮事項について議論を進めたいと思います。

（２）内容に関する配慮事項

【東京書籍】

- まずは、東京書籍について進めます。
- 東京書籍については技術の「見方・考え方」について解説を図式化しています。例えば３６ページを開いてください。ここにあるように振り返りの視点で「技術の見方・考え方」を触れるように構成されています。
- 他にも１００、１６８、２１６ページにも記載がありますね。ただどのページも例示が載せてあります。学習の中で「見方・考え方」を身に着けるという視点においては、例示はないほうが良かったかもしれません。
- 同じ意見です。指導書に記載があればよいと思います。
- 関連して他にありますか。なければ違う観点で何かありますか。
- ガイダンスに注目したときに、東京書籍は、他者にもありましたが、実習時の安全面について図を使用して説明されているので大変良いと感じました。教師にとって、若年からベテランまでこのページを確認することで安全に実習を行うことができると思います。ただし、ガイダンスにおける安全指導については、加工学習に偏って紙面が割かれているので、他の内容についても掲載があるとよかったと思います。
- ありがとうございます。言語活動の充実等についてはいかがでしょうか。
- 「主体的・対話的で深い学び」について、例えば３ページに技術の学習方法としてブレーンストーミングやKJ法などの方法、そのほかの学び方について記載があります。
- そうですね。他にも例えば２１ページの「活動」の中には話合いを促す記述等があってよいと思いますが、全体的に対話的な活動のページとしては少ない印象です。
- 他にありますか。なければ系統的・発展的な指導の配慮についてはいかがでしょうか。
- 各内容の最初のページ、例えば１８ページには、「他教科とのつながり」として校種、教科、学年の記載があって、どの学年の学びがどのようにつながっているか生徒に関連を促しながら授業を行えると思いました。
- 改めてみると他教科との関連性や系統性を再確認できますね。
- 他にこの視点での意見がなければ、問題解決的な視点ではいかがでしょうか。
- 例えばですけど、170ページを見てください。「問題を発見し、課題を設定しよう」の項目を挙げ、問題の発見から課題の設定までの問題解決のプロセスが示されています。
- 問題解決カードの例示はよいかもしれませんね。図２の「問題発見、課題設定のための５W１H」も生徒が具体性をもって学習できる工夫として、わかりやすいと思います。
- 関連して、今回の学習指導要領の改訂で、統合的な問題解決では、事例数も十分にあり活用しやすいと思います。

【教育図書】

- 他になければ、教育図書の（２）に移りたいと思います。どなたでも結構ですので意見があればよろしくお願いします。
- 他教科や学年間の関連については、各章の右上に簡単な記載があります。関連、系統的・発展的な指導の配慮としてはやはり学年や、内容の記載がないと難しいと思います。
- 他にも対話を生み出すような記載があると、どの場面でどのような活動の中で対話的で深い学びにつなげていくかわかると思います。

・　「技術の見方・考え方」についての記載がないため、教師があらためて項目として取り上げる必要があると思います。
・　たしかに「技術の見方・考え方」については、トピックとして取り上げてもらうと指導がしやすくなりますね。
・　問題解決的な学習についてはいかがでしょうか。
・　２２ページをご覧ください。「材料と加工の技術」の場面で、「問題解決する工夫を考えよう」の項目があります。具体例としてペットボトルに込められた材料や形状の工夫をとりあげおり、また、「段ボール箱から古紙リサイクルボックスの製作してみよう」の中で、問題の発見から課題の設定、問題の解決までの手順が示されていてわかりやすいと思います。
・　統合的な問題解決については、E 編「夢をかなえる技術」の内容だと思いますが、題材例をみると各内容を統合したものにはなっていないように思います。
・　統合的な問題解決については、今回の改訂の重点化の一つであると思いますので、大きく取り上げてほしいと思います。
・　問題解決についてほかに意見はありますか。なければ、安全面ではいかがでしょうか。
・　先ほど東京書籍の時に安全面の話をさせていただきましたが、教育図書については「各教室の特徴と安全」として安全面について記載されているので、すべての領域を網羅することができていると思います。教室環境を想起する図など使用されているので、実習の場面では大いに活用できると思います。
・　さりげなく使用する工具等の図があるのもよいと思います。

【開隆堂出版】

・　では、ほかになければ、開隆堂出版の（２）について意見をお願いします。まずは系統的・発展的な指導についてお願いします。
・　各内容の最初のページに、小学校や他教科について具体的な教科の単元や学年を記載されています。
・　学年と単元名があるのは正直助かります。技術分野は中学校のみの教科なので、関連がわかると若手の先生方にも指導しやすくなると思います。また、奇数ページの右上に各内容と関連した工具や計測機器なども示されていて、知識の習得にも役立ちそうですね。
・　対話的な活動についてはいかがでしょうか。
・　各内容のポイントポイントで話合いを促すようなイラストが随所にあり、視点ごとに対話的な活動を教師側で仕組むことができると思います。
・　先ほどから話題に上がりました「技術の見方・考え方」についてはいかがでしょうか。
・　「技術の見方・考え方」については、多数の記載があります。例えば、１５ページには「技術の見方・考え方」を項として取り上げ、その中で、具体例として電気ストーブについて記載されています。説明も詳しく生徒だけでなく、教師にとってもわかりやすい構成なので、指導しやすいと思います。またこの中で問題の発見と課題の設定、問題解決の流れも示されているので、学習指導要領でいうところの自発的な学習が促されるように配慮されていると思います。
・　材料と加工の技術の振り返りにおいても８８ページのように技術の最適化について触れることで、技術の見方考え方について再確認できると思います。
・　統合的な問題解決については、いかがでしょうか。
・　統合的な問題解決については、もう少し事例数が多いと指導する側もイメージしやすいのではな

いかと思いました。

- 安全面はいかがですか。
- 安全面については、３ページから２．５ページを見開きにして「作業の安全」についてすべての領域を完全に網羅しています。どの内容を扱うにしてもこのページに戻って学ぶことができるので特に大学を出たての若手教員の安全指導の指標になるのではないかと思います。
- 服装や姿勢だけでなく、けがをした時の応急処置についても扱っているのは助かりますね。
- ありがとうございました。時間も迫っているようなので、一旦終わりにしようと思います。
- 本日は、ここまでです。次回は、分量、使用上の便宜、印刷・製本、選定の観点を中心に研究調査を行い、まとめていきます。また学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていきます。

令和２年７月３日（金）　教育センター　　２０６室

１３：４０～　選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究
１３：５５～　各自の調査研究の読み上げ
　　協議：司会（教頭）

（３）分量

【東京書籍】

- 本日も私のほうで司会進行させていただきます。先日の続きからお願いします。（３）の分量について東京書籍から始めましょう。
- 東京書籍については、各内容の範囲、分量ともに適切だったと思います。
- 同じく適切だと思いますが、「情報の技術」でたとえば２００ページからの内容が簡略化されていて、情報の技術の基礎・基本的な内容であるからこそ、もう少し深く掘り下げたい気がします。
- 他になければ、教育図書についてお願いします。
- 学習指導要領に示されている内容についてはすべて取り扱っていると思いますが、「導入題材」と「本題材」の両方を各内容で実施すると分量が多いと思います。
- 内容ごとの分量や項目によって配当時間に差がありますね。
- ガイダンスに関する分量が少ないとも思います。

【開隆堂出版】

- 他になければ、開隆堂出版に移ります。
- 分量、範囲ともに問題ないと思います。
- いろいろな指導計画にも柔軟に対応できるように考えられていると思います。

（４）使用上の便宜

【東京書籍】

- 他になければ、（４）に移りたいと思います。東京書籍はいかがでしょうか。
- まず目についたのは、教科書内に使用されているマークに関する説明が丁寧にされているので、分かりやすいと思いました。他にも 149 ページにある資料は、電気に関する基礎知識について記載があるのですが、理科で未履修の場合役に立つと思いました。
- プログラミングについて、「今すぐできる！プログラミング手帳」があり、プログラミングのマニュアルとして活用できる一方で、切り離すことができて別冊扱いができる工夫について

は賛否両論で意見が分かれると思います。

- 話が変わりますが、１ページ当たりの情報量が多いと思いませんか。
- 確かに開いたときに入ってくる情報量が多少多いように感じます。ページ数が増えても１ページの情報量を減らしたほうが、生徒にとってはよいかもしれません。
- 他にございませんか。
- 「TECH Lab」「技術のとびら」といったトピック的な内容が掲載されていますが、この内容が基礎的な学習内容か発展的な学習内容か明確ではないと思います。
- どちらかに絞るか、内容を明確にすることで分かりやすくなるかもしれませんね。

【教育図書】

- 他になければ、教育図書に移ります。
- 安全面に関する記述が、内容ごとに丁寧に記載されています。24 ページには、服装、技術室、工作機械、作業後の整理整頓など具体的に示してあるので大変良いと思います。
- 各編のまとめには編末問題があるので、評価の３観点に対応した問題で、学習をふり返ることができるようになっていますね。
- 教科書で使われているマークについてはどのようなマークかあるかの記載はあるけれどもその説明がないため、教師が説明をする必要があるのかなと思いました。

【開隆堂出版】

- 他になければ、開隆堂出版に移ります。
- 先ほどの話で出てきたマークについてですが開隆堂出版に関しては説明が丁寧で、マーク自体も簡素化されて見やすいと思います。また、レイアウトもよいと思います。基本的に見開きを有効に活用しているところと本文や参考など資料との区別が明確です。
- 生徒にとっても指導する教師にとっても見やすいレイアウトになっていますね。各内容が本文、図・イラスト・写真など正確でわかりやすく丁寧さが見えます。特に写真は必要箇所について生徒目線で作業を進めているかのようなアングルで使用されています。
- 私も同じ意見です。例えば１７７ページのように工具を使用する場面では生徒目線のアングルで撮影されてわかりやすいと思いました。

（５）印刷・製本等

【東京書籍】

- つづいて印刷・製本についてお願いします。東京書籍からお願いします。
- 印刷については特に問題はないと思います。鮮明で図や写真は見やすいと思います。
- 一点気になるところがあります。書体はユニバーサルデザインフォントを使用して、可読性を高めるように配慮されていると思いますが、気になるのは配色です。淡いオレンジ、ピンク、グリーン、イエロー等を多用しているので、何が重要なポイントか、全体的に見にくさを感じる部分があると思います。
- できればパッと見たときに重要なポイントがわかるような配色のほうが生徒はわかりやすいのではないかと私も思いました。

【教育図書】

- では教育図書はいかがでしょうか。
- まず本文の文字の大きさが見やすいと感じました。
- 全体的に色の濃淡がはっきりしているので見やすいと思います。ただ気になるのが資料の写

真が小さいものも多く、細部が見にくいところがあります。
・　８６ページや９９ページがそうですね。

【開隆堂出版】
・　では、開隆堂出版はいかがですか。
・　印刷は鮮明で問題はないかと思います。資料の図や写真も何を何のために移しているかが明確なので見やすいと思います。フォントサイズ等も適切だと思います。

２　選定の観点

【東京書籍】
・　他に意見はございますか。なければ、最後に選定の観点で議論を進めたいと思います。東京書籍からお願いします。
・　「生物育成の技術と環境との関わり」では、「材木を育てる技術」と「農業、林業、水産業の多面的機能」を取り上げることで、郷土の文化や環境に目を向けることができると思います。
・　付け加えて、１３４ページに見られるように、持続可能な社会の構築に寄与する態度が養えるよう配慮されています。
・　「TECH Lab」において、例えば５０ページのように作業の様子を大きな画像で掲載し、わかりやすく表現するよう工夫していされています。
・　技術分野の肝となるトレードオフについて扱っているところもあります。１４４ページを開いてください。ここでは、発電方法について社会・経済・環境の視点をおいたトレードオフの視点を示し、最適なエネルギーミックスについて生徒が考えることができるようなっています。
・　情報モラルについては、学習活動に応じて適宜「情報モラル」マークを付して注意を促しているところを挙げさせてもらいます。また、違う話にはなりますが、プログラミングについて選択できる事例が多数あるところもよいと思います。
・　学習指導要領には動物の飼育、水産生物の育成についても扱うこととなっているので、こちらについても問題解決例の掲載が欲しいところですが、事例の掲載が少ないように思います。
・　動物の飼育、水産生物の育成については、地域によっては、北九州市においても取り扱う可能性があるので、そういった事例も多くあるとよいかもしれません。

【教育図書】
・　では、教育図書はいかがでしょうか。
・　先ほどの生物の育成に関してですが、教育図書では、作物の栽培、家畜の飼育、水産生物の育成や見学を行う際の心得が掲載されていて、安全への配慮があります。他にも、家畜として、乳牛、採卵鶏、ブタの飼育、水産生物としてアワビ、ヒラメ、マダイの育成を3例ずつ掲載していて実習例が豊富です。高校の事例を集めているみたいですね。
・　１５２ページに掲載されている通り、様々な発電技術の特徴を示すことで、社会的・環境的・経済的な視点で技術を評価し、活用する能力を育成することを目指していることが見て取れると思います。
・　１８２ページを見てみてください。持続可能な社会と企業の成長について掲載しており、企業における持続可能な社会に配慮すべき３要素が理解できますし、なにより企業視点でとらえているところは評価します。
・　プログラミングについて巻末資料がプログラミング言語の基礎的な内容を理解しやすい言葉

で編集されていると思います。ただ、プログラミングについては１８２ページのアクティビティ図の説明が分散して表記されているのでわかりにくいと思いました。

【開隆堂出版】

- 最後に開隆堂出版をお願いします。
- これからの時代を見据えて、生物育成の技術ではＡＩやビックデータの活用と関連付けて、情報の技術との組み合わせの視点を合わせているところは大変良いなと思いました。
- 私は、職業の理解、職業観を育むといった視点で例えば１７３ページにある、コラムで電力を使わないアシストギアを取り上げ、開発者の思いとしてコラムを掲載していますが、こういったコラムを授業で取り上げることで、「技術の最適化」「見方・考え方」に気付かせることができると思います。
- 技術と社会・環境との関わりの理解を通して、生命や自然への敬意、環境安全に寄与する態度、他者や自然と共生する態度をといった技術ならではの「主体的に学習に取り組む態度」養えるようにしていると思います。
- 先ほど話題にもなっていましたトレードオフについては開隆堂出版でも、製作においてトレードオフの視点を示し、最適化を図った設計を行うことができる内容構成となっています。
- GIGA スクール構想の実現に向けて本市においても一人一台端末の整備が始まると聞いています。となると技術分野の役割は大変大きいと思います。開隆堂出版の「情報の技術」では情報セキュリティ、情報モラルの２つの内容に分け、それぞれ 4 ページ、6 ページの合計 10 ページで系統立ててまとめており、具体的な事例が示されていて、さらに話合いを促すよう構成されています。
- 「生物育成の技術」について触れていなかったので触れさせていただきます。開隆堂についても家畜の飼育、水産生物の育成の実習例がそれぞれ 1 事例のみなので、もう少し多いとよいと思います。

<u>市民学校の意見</u>

- これで、全者終わりましたが、市民と学校からの声が上がってきておりますのでそちらを検討したいと思います。まずは市民からの意見が２件あります。１件目についてはいかがでしょうか。
- 教育図書のプログラミングについて東京書籍と比較して解説が少ないとのことですが、解説が少ないと感じる部分はありません。プログラミングについては、全者同等程度だと思います。先ほど選定の基準であげた通り教育図書のアクティビティ図については分散して表記されているので分かりにくいと思いましたが。
- 私も特に解説が少ないとは思いませんでした。
- 他にございませんか。なければ２件目について意見をお願いします。
- 問題解決カードがすごく良いとのことですが、前回我々もその意見があったと思います。一方で開隆堂出版の内容が薄いとの意見ですが、具体が書かれていないのでどの部分が薄いのかわかりませんが、内容が薄いと感じる部分はなかったと思います。
- 私も内容について薄いと感じる部分はなかったかと思います。
- では、市民の意見として参考にさせていただくのは「「情報の技術」におけるプログラミングの内容については、解説がしっかりしており、「プログラミングがどのようなものに応用できるか」等自分自身で様々な問題を解決できるよう配慮されている。」でよろしいでしょうか。

全員　それでお願いします。

- 続いて、学校からの意見ですが、多くの意見を寄せていただいておりますので、確認する時間を取りたいと思います。読み終わってから、意見をいただきたいと思います。なお、委員で議論した内容と違う内容がありましたら付箋を貼っていただき、その内容について検討したいと思います。では、よろしくお願いします。
- 時間になりました。皆さん読み終わりましたでしょうか。では、よろしくお願いします。東京書籍については何かございますか。
- 私たちの意見と全て同じでした。違うものはありません。
- 教育図書はいかがでしょうか。
- １点あります。実習例について「全体的に情報量が多いため、活動中に過去の内容をフィードバックしたい場合、結び付けが難しい。」との意見がありました。
- 実習例が多い点は、私たちの議論の中でもあったかと思います。確かに過去の内容をフィードバックして結び付けるとなると情報量の多さは問題となるかもしれません。いずれにしても適切な量が必要ですね
- 他にございますか。なければ、開隆堂出版をお願いします。
- 開隆堂出版については私たちの意見と全て同じでした。違うものはありません。
- ありがとうございました。すべて終わりましたのでこれで司会を教育委員会に渡します。お疲れさまでした。
- ありがとうございました。以上で３者全ての協議が終わりました。報告の整理に入ります。

１６：００～　　大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。

１６：２０～　　印刷・確認　→　修正

１６：４０～　　鑑文に押印・片付け

１７：００　　終了

専門調査部会（中学校　技術・家庭科　家庭分野）議事録　　記録者（森友）

令和２年６月２４日（水）　教育センター　２０６室

１３：４０～　全体会（部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等）
１３：５０～　選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究
１４：１０～　各自の調査研究の読み上げ
　　協議：司会（教頭）

・　東京書籍、開隆堂、教育図書の順番で各自の調査研究について観点ごとに発言をお願いします。

［東京書籍］
・　１各教科共通の選定の観点から見ていきます。まずは、⑴内容の範囲及び程度から。
・　「自立から共生へ」の考えのもと、B 衣食住の生活は C 消費生活・環境、A 家族・家庭生活の順となっています。配列が違っていても、発達段階に合わせてすることができるが、自立と共生は両輪であるとも言えます。「家族・家庭の機能」を最初に学習する必要もあるのではないか。
・　確かにそうですね。最初に学習する必要もあると思いますが、順番を入れ替えての学習も可能なので、いい面と改善点がありそうです。
・　⑵の内容に関する配慮事項はどうですか。
・　活動や実習例が充実しており、主体的に考え調べたり、友達と協働して検討したりする設定になっていて、言語活動の充実や主体的・対話的で深い学びが実現できるようになっているということですが、言語活動の充実に特化した内容ではないのでどうでしょうか。p215、p262 などです。よいでしょうか。

合意
・　題材の最初に「生活の営みに係る見方・考え方」がマークやイラストで解説されていて、学習の過程で理解を深めることができるようになっています。
・　確かにその通りです。工夫されている点ですね。

合意
・　個に応じた指導ができるように自らの生活を振り返って課題を解決するための発問が設定されているのは、どうでしょう。
・　p22 や p24、他にもたくさんの発問があります。
・　多くのページに発問があるので、発問が「随所に」を入れます。

合意
・　項目ごとにめあて・キーワード・まとめが示されているので何について学ぶかが分かりやすくなっています。でも、まとめは必ずしも各項目にはありません。
　（みんなで調べる。）「まとめ」という言葉は外してもよいと思います。

合意
・　導入で、自己を振り返る記入ができ、課題意識を持ちやすい。考えをまとめる手法が紹介されており、生徒が解決方法を見出す補助資料になっている。もう少し、ページ数など詳しく知りたい。
・　ガイダンスで、自分を振り返ることができます。p24 など、直接教科書に記入するページがある。

でも、全部ではない。必ず、記入欄があります。（p109、一番多かったのは、ガイダンス）

・ 教科書に書き込むところは、まとめでどの者もありますね。ガイダンスに書き換えて、詳しいページ数を記入します。（pp12～15）

合意

・ 実習例の分量は適量であるが、丁寧に解説された実習例が少ないです。1 ページを割いた調理実習例が少ないという意味でいいですか。
具体的に言うと p69 です。p66、p67 のように一種類を丁寧に取り扱うものが少ない。

・ でも、手縫いの基礎は、丁寧。実習例は充実しているのでは。

・ 活動や実習例は充実していると思います。主体的に友達と一緒に検討できる設定が多い。具体的に言うと、p215 や p262。

・ 調理実習の調理法だけが、もう少し丁寧だとわかりやすいというだけで、基本的な内容はとても充実していると思います。

（みんなで、各ページを調べていく。「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」などの活動を促すものが多かった。）

合意

・ ⑷使用上の便宜の討議に移ります。

・ 特別支援教育の視点からをユニバーサルデザインについてのページなので置き換えます。教科の観点なので、そちらにいれます。

合意

・ 学習内容の復習ページが、重要語句と課題形式になっていて、学習した内容を自主学習で振り返ることができるようになっています。

合意

・ 学習内容にそったイラストを各ページに載せていますが、何度も教科書を開いてほしいという観点があるようですが、必要ですか。

・ 中身の問題ではないので、生徒によっては良いかもしれないが、全体に当てはまることではないのではないでしょうか。

合意

・ ⑸印刷・製本等についてはどうですか。

・ 表紙の色については、主観が入りやすい。東書は、背表紙に名前を書く欄があります。とても、よい工夫。（みんなでもう一度、教科書を確かめる。）これを、よい点でいれてもよいですか。

合意

・ 次は、２　選定の観点にうつります。特化しているところを出していきましょう。

・ 題材ごとに「持続可能な○○を目指して」の設定があり、ＳＤＧｓにつながる内容となっていてよいと思います。

・ p 98､99 にはカーボンフットプリント･マークやマヨネーズの軽量化について取り扱っています。

・ そうですね。あと、幼児とのふれあい体験が 3 パターン紹介されている。学校の実情に合わせた活用ができそう。

・ p242 から 247 にありますね。

・ 家族や地域の高齢者との関わりでは、高齢者の体の特徴や関わり方の説明があり、高齢者との関わりが少ない生徒にとっても理解しやすいです。

・ p258、259 にありますね。その点でいうと、ロールプレイングも有効だと思います。思春期の中学生が、演じることにより、相手の立場や気持ちを考えることができる活動になっています。ページでいうと、p262 や p263 ですね。
・ A 家族・家庭生活の内容では、特化するところが多いですね。食品の目ばかりや実物大の写真など調理実習に役立つ内容も多数ありますね。
・ でも、調理実習例は適量だが、段階見本の内容が少ない。（P76,77）
・ 確かに。段階見本は丁寧な方が生徒にとってはありがたい。食生活ではないが、C 消費生活・環境の内容のスマホ決済のことは、今、普及し始めています。この内容についてもう少し、詳しく協議したい。
→次回協議

【開隆堂】
・ 次は、開隆堂を観点ごとに詳しく見ていきましょう。
・ ⑴内容の範囲及び程度で、実習の安全や衛生に関するページは巻頭・巻末にまとまって取扱いがないだけで、中には入っている。対応の題材のところで対応できたらいいのでは。
・ 確かに、調理実習のページでは p111 の包丁の取扱い方や p115 には衛生的な扱いに触れているページがありますね。

合意
・ ⑵の内容に関する配慮事項についてですが、導入課題やアクティブラーニングの課題を設定していて、問題解決型学習の取扱いが多いのは確かですが、生徒が主体的に考えるきっかけになっているほうが多い。生徒の意欲付けや主体的に考える動機付けというほうが正しいのでは。全体的なことですね。

合意
・ アクティブラーニングの学習技能が「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」の 4 つに分類されていて授業に取り入れやすいですね。
・ p23、p109、p178、p242 にありますね。
・ 生徒が自主的に学習できる動機づけになっている内容ですね。自主的・自発的な学習が促されるように配慮されています。

合意
・ 各題材の最後に、「持続可能な社会を目指して」の内容を取り上げています。ＳＤＧｓと家庭生活の関わりを話し合うようにしているではなく、図るよう配慮した内容になっています。

合意
・ 実習例が少ない。また、授業時間数を必要とする実習例が多い。学校現場から考えると 1 時間では実習しにくいものがあるので。
・ 基本は、2 時間で何品かの実習なので、問題はないと思います。
・ ⑷使用上の便宜に内容では、どうですか。
・ 学習（題材）の初めに、背景の写真と意欲付けの言葉があっていない箇所があります。p14 から p15、p160～p161）あっていない箇所がある。有効に働くように配置されていません。
（ページを見る）
・ そうですね。吹き出しの言葉と手形足形がちぐはぐ。

・ p160 は日本古来の模様があって、その説明が吹き出しにあるならわかるが、吹き出しの内容が衣生活についての課題意識をもたせるものになっていてちぐはぐ。
（確認後）合意
・ ⑸印刷・製本等では、「消費生活と環境」は、行間の使い方や、資料と文章の分量が適切でない気がします。p158 など消費生活は全体的に行間の様式が適切でないに書き換えたほうがよいのでは。
・ 確かに字が詰まりすぎているところがあります。
・ パッと見た時のレイアウトが詰まりすぎのところと、ゆとりがあるところの差が大きい。

合意

・ 次は、２家庭分野の選定の観点について特化したところを見ていきましょう。
・ 「A 家族と家庭生活」では、中学生の自分から幼児の自分を振り返らせるところでは、最初に幼児から高齢者の内容を押さえている。それの方が、活用しやすいと思いますが、どうですか。

合意

・ 養子縁組、里親制度は、取扱い内容が、踏み込みすぎています。特に、資料ではなく、本文に記載があるので、配慮が欲しいです。
・ p24 ですね。そう思います。いろいろな家庭の形があるのはわかるが、本文にこんなに記載があると現場でとても配慮がいります。
・ 言葉の説明も丁寧にしなくてはいけないし、取り扱うときに慎重になってしまいますね。
・ 調理の衛生と安全の記述は、このご時世も含めて、もっとページ数を多く取り扱ってもよいと思う。
・ 確かに p113 に取り上げられているが、紙面としては取扱いが少ない。手洗いも大切なことですし。
・ クーリング・オフとジャドママークは、関連を理解しにくくなっていると思うがどうですか。
・ ジャドママークは、p235 で出てきます。通信販売に関する内容で取り扱いがあります。そして、p250、p251 の消費者を支える法律や制度でクーリング・オフが出てきます。
・ 一緒のページにあった方が、関連付けて取り扱うことができるのですが。
・ そうですね。授業では、そちらの方が流れとしては自然かと。

【教育図書】

・ それでは、教育図書について観点ごとに見ていきます。１各教科共通の選定の観点の⑴内容の範囲及び程度から見ていきます。
・ 分野によっては、難しい文章があり、三年間のカリキュラム作成に工夫が必要であるという内容は、（２）のエの内容ではないでしょうか。
内容としては、A 家庭生活や C 消費生活のところなどで、未成年者取消権など普段聞きなれない語句がある。詳しく書かれているからこそ、言葉や文章が難しく分かりにくい。
発達段階に合わせた配慮が必要ではないか。
・ 未成年者取消権は、p246 ですね。この内容だと、ロールプレイをするなどの工夫をしないと理解に時間がかかりそうですね。

合意

・ どの分野も実習例が多く、一人一人が課題を設定して実習できるようになっています。（P124～

129）難易度設定があって、生徒が自主的・自発的に選択しやすい。

・ 個に応じた指導がしやすくなります。

合意

・ ⑸の印刷・製本等では、気になる点が多い。
インクの配色や字体によって見づらいページがあります。一番わかりやすいのは、p226～227 の幼児の安全の図。賛否はあります。これをよしとする人もいます。また、p222 の吹き出しの字体が読みにくいです。

・ 具体的なページを明記していきたいと思います。

・ 特に、写真は、p132。かば焼きのページを作りたいという意欲を高めるために写真の工夫が必要ではないか。

・ 字体が統一していないため、読みにくいページがあります。（P177 など）

・ また、暖色系の色が濃いので、色が先に目が留まるところがあります。

合意

・ ２家庭分野の選定の観点から特化したことを見ていきましょう。

・ 考えてみよう「コミュニケーションの技術を磨こう・高めよう」は、発展的な学習内容であり、生徒の過重負担になるのでは。

・ しかし、発展的なものは、区別されて記載していたら、問題ないのでは。
（全員で、確認）区別されて記載されています。

・ アレルギーに関する表記があるが､配慮を必要とする生徒が実習できない例が紹介されています。最初の実習例が、ホットケーキになっています。（P119）卵・牛乳・小麦などの食物アレルギーの注意事項として、記載はあるものの、配慮が必要なのではないでしょうか。

合意

・ 本日は、ここまでです。次回は、もっと具体的に選定の観点について研究調査を行い、まとめていきます。また学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていきます。

令和２年７月３日（金）　教育センター　　206 室

１３：４０～　選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究
１３：５５～　各自の調査研究の読み上げ
　　協議：司会（教頭）

・ 今回は、前回協議の内容になっていたことや、もっと具体的な内容を選定の観点ごとに調査研究を行います。また、学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていきます。

【東京書籍】

・ 東京書籍から、協議します。学校や、市民の声を参考にしながら協議しましょう。

・ ⑵の内容に関する配慮事項では、災害に備えるための防災・減災に関する内容を充実させています。p174 から p177 です。

・ 被災した中学生ができることや避難所や仮設住宅の暮らしの工夫などが資料で書かれてあり、生

徒が主体的に考える内容になっていますね。

- 「活動　危険探しチェック」は、話合い活動が充実できる内容ですね。学校からの意見としてもあります。p172、p173 です。
- 学校の意見を見ると、巻末付録の「防災・減災手帳」が学習内容と関連していて、生徒が活用しやすいとあります。
- 確かに、学習するときに関連していてわかりやすいですね。また、各分野で、関わりのある内容は、防災マークで紹介がされています。これも工夫ですね。

合意

- 内容に関する配慮事項で、小学校や他教科との関連が色分けやマーク等で示されています。コンテンツとしてもみることができて、各教科との関連を放って、系統的・発展的な指導ができるようになっています。
- マークが分かりやすいですね。生徒が学習を進めるときの手助けになります。

合意

- あと、手洗いの大切さと衛生に関することなのですが、写真で詳しく説明されていますね。
- 科学的根拠も用いているので、理解しやすいです。
- ページでいうと、p174 から p177 です。手洗いは、口絵 p3 ですね。今の状況から手洗いは分かりやすいのがよいです。
- 市民や学校からの意見も同じですね。

合意

- ⑶分量に関してはどうですか。授業時数から見ても適切で、各領域の内容に偏りがないと思いますが。

合意

- ⑷使用上の便宜ではどうでしょう。
- 実物大写真が分かりやすい。ページでいうと、p36 から p39 の 1 群と 5 群の 1 日分の摂取量。p226 の幼児の発達。
- 興味関心が高められる工夫がありますね。ここから、調理計画を立てるときに目安の食材の分量が分かるので、目でみてわかるというのは大切です。

合意

- ⑸印刷・製本等についてはどうですか。
- 発色もよく、印刷が鮮明。特別な支援を要する生徒にも配慮された文字の大きさ・字体・ルビ。用紙は軽量。
- 紙質が薄いからだと思いますが、ページがめくりにくいかと。

合意

- ２　選定の観点について詳しく協議していきます。
- 「プロに聞く」のコーナーの 16 人の専門家の話が、学習内容を深めるとともに、将来や社会とのつながりを感じられる内容。
- キャリア教育にも関わりがありますね。
- だし汁の取り方のことでいいですか。2 種類の記載があって、写真で分かりやすく示している。日本の食文化、和食についての内容が適当。
- 学校や市民からも同じ意見がありますね。食生活だけでなく、衣生活や住生活にも日本の文化の

記載があります。
- 和服は、p164。和式の住まいは、p112 から p115 です。日本の文化についての記載が多いですね。
- 衣生活のことがでてきたのですが、旧の取り扱い表示の記載もあるので、実際に自分が持っている衣服の表示についても比べながら理解できるのがいいですね。p120 です。
- 生活の中で生かすことができる内容ですね。
- スマホ決済などに関わる消費者生活についてはどうですか。次回検討事項になっていました。
- 金銭管理や消費者トラブルについての記載が p190 から p193 にある。生徒が具体的に考えられる内容になっています。
- 学校からも同じいけんがありますね。
- スマホ決済などは、これからの生活の中で知っておく必要がありそうですね。家庭分野では、学習したことを生活に生かすということが大切なので。
- 確かにそう思います。
  食生活の調理実習についていいですか。
  蒸し料理の実習例が少ないように思うのですが。
- 学校からの意見もそのようにありますね。
- p76 を見てください。参考例として、小さく記載はありますが。
- 蒸し料理は、新学習指導要領で取り入れられた調理法でもあるので、どうでしょうか。
- もう少し、例がたくさんほしいですね。

合意

【開隆堂】
- 開隆堂の協議も、観点ごとに発言をお願いします。学校や市民の意見も踏まえながら協議していきましょう。
- ⑵内容に関する配慮事項のところで、導入課題が身の回りのことを基にした課題です。意欲的に取り組むきっかけづくりになるかと。p252、p28 です。
- 発問が身近ですね。確かに、意欲的になります。
- ほかにもたくさんそのようなページがありますね。工夫している。

合意
- 市民の意見から、衛生面の手洗いに取り扱っているページが少ないとあります。
- 前回の専門部会でも、議題にあがりました。確かに、記載はありますが、取り扱いの分量が少ないということでしたね。
- すみません。話題が変わりますが、マークを使って分かりやすく工夫されています。例えば、p112 のリンクマーク。小学校や他教科との関連を図っていることが一目で分かります。
- 発展マークもそうですね。学習内容が区別しやすい。

合意
- ⑶分量はどうですか。授業時数から見ても適切で、領域の内容は偏りがないと思いますが。

合意
- ⑷使用上の便宜ではどうですか。
- 実物台の資料があり、分かりやすい。
- ページでいうと、p88 から p94 ですね。

・　実習の写真も大きくて、調理手順に沿った写真があって、見通しがもてる内容ですね。

合意

・　題材のはじめなのですが、学習の動機づけが有効に働いていない部分があるかと。
「○○○わたしの興味・関心」のところです。
（みんなで確認）

・　背景の写真と質問がマッチングしていない感じがします。

合意

・　⑸印刷・製本等についてはどうですか。
・　軽くて薄い紙で、ページがめくりやすい。
・　黄色の色が濃いため、ページによっては内容よりも色が目に留まるところがあると学校からの意見があります。
・　何ページが見てみましょう。
・　p173 は、黄色の枠の中に写真や文字があります。
・　p226 からの生活の課題と実践も黄色の色が濃いです。内容ごとに分かりやすく分けているからだと思うのですが。
・　学校からの意見も大切にしたいですね。

合意

・　２家庭分野の選定の観点についてはどうでしょうか。
・　「先輩からのエール」での社会人の話が学習内容を深めています。
・　学校からの意見もありますね。生徒が将来を考える参考となる資料です。
・　調理実習のことですが、蒸し器の使い方を示したり、実習例が大きく取り上げられています。
・　何ページにありますか。
・　p112 です。p132 にもあります。学校からの意見もありますね。でも、一つの実習例は大きく取り扱っていますが、種類が少ないという意見もあるようです。また、和食や行事食について資料が豊富です。
・　日本の文化の取扱いが豊富なのは、和服の文化もそうです。浴衣を取り扱い、体験的な学習になっていますね。p166 から p169 です。
・　生徒自身が実践しやすい内容や資料がどの内容でも豊富ですね。
・　アレルギーについても、色で網掛けしていて、配慮されています。
・　配慮されているといえば、「多様な人々が暮らす地域」では、障がい者や外国人、LGBT についても取り上げて、共生について考えています。p58 から p59 です。
・　資料が豊富なのですが、反面、養子縁組や里親制度の取扱いについては、家族関係が複雑化していることも踏まえて、細かい説明の授業での取扱いをどのように取り入れるか考える必要がありそうです。
・　確かにそうですね。知識として知っておくことは大切なのですが、発達段階を踏まえて慎重にするところではあります。
・　少し前に話を戻しますが、食生活について、食事摂取基準の学習の前に、５大栄養素の学習をした方が、「中学生に必要な栄養」のスムーズな理解につながるかと。
・　実際に授業をしたときに、内容的にその方が生徒の理解がスムーズになりそうですね。

合意

【教育図書】

- それでは、教育図書の協議に入ります。観点別に発言をお願いします。
- ⑵内容に関する配慮事項では、どの分野も実習例が多く、習熟度にも配慮している。一人一人が課題設定して実習できるようになっています。p124 から p129 です。
- 私のアレンジとして、玉ねぎをプラスしたり、肉の種類を変更したりというのが、実生活に即した内容になっていますね。

合意

- 問題解決型学習の定着を図る工夫もあります。「学びを生かそう」と「生活の課題と実践」のどのテーマも 6 ステップで統一しています。
- p286 からのところですね。生徒にとって課題を主体的に進めることができる工夫ですね。
- あと、話し合いや思考を深める場面を位置付けている。言語活動を充実させるように工夫が図られている。

合意

- 他教科や小学校との関連を示すリンクマークがある。系統的・発展的な指導ができる配慮がある。
- 発展的な内容には、発展マークがありますね。区別できるのでいいですね。

合意

- 調理実習では、手順の写真を段階を追って示している。p125 を見てください。
- 学校からも意見があります。生徒が実習の過程をイメージしやすいですね。

合意

- ⑶分量は、授業時数からみて適切で学習内容が網羅されて、資料の情報量が豊富だと思いますが、どうですか。

合意

- ⑷使用上の便宜はどうでしょう。
- 巻頭や巻末の付録、年中行事と私たちの暮らしや食品シールが工夫されている。
- 使ってみたくなりますね。
- 生徒の興味関心が高くなりますね。また、学習の振り返りとして、自主学習できるページがあったり、巻末に生活の実践と課題の例を紹介したりして発展的な学習にも意欲的に取り組む工夫があります。

合意

- ⑸印刷・製本についてはどうですか。
- 内容ごとに配色を分かりやすく分ける等、工夫している。
- でも、暖色系の色が濃いような気がします。図表は、文字より色が先に目に留まることも。例えば、p97。
- 確かに、色分けされていて見やすいかと思ったけれど、色遣いが分かりにくいところもある。文字より、色が先に目にとびこんでくるというか。
  （各自調べる。）

合意

- 紙質はしっかりしていて丈夫なのですが、全体的に重い。生徒が持ち運ぶ負担を考えるとどうでしょうか。
- たしかに、そうですね。

合意

- ２家庭分野の選定の観点はどうですか。
- 「先輩に聞こう」では、体験に基づいた話があります。将来について考えられる内容。
- キャリア教育につながる部分ですね。生活に生かす工夫です。
- 学校からの意見で年中行事の一覧ページがあってよいというのがあります。
- 口絵のところですか。p3、4 ですね。
- 伝統文化についての関心が高まりますね。食の伝統文化として、「だし」の記載についてですが、和食の基本として、いろいろなだしの材料や混合だしを取り扱っているという学校の意見もあります。
- 日本の伝統的な住まいにも写真を用いて詳しく説明されています。p216 から p217 です。
- 伝統文化の取扱いは、多くありますね。
- A 家族・家庭生活のところで、高齢者との関わりは、高齢者や特別養護老人ホームの方の話が掲載されています。p35 です。
- 具体的な話は、生徒にとって分かりやすいですね。学びが深まります。また、家族との関わりのところでも、コミュニケーション・ツールの例がたくさんあります。p19 です。
- この中から試してみたいという気持ちになりますね。視覚的にも分かりやすいです。
- 話が変わりますが、防災の観点からみると、衣食住の生活すべてで、災害時の対策を取り扱っています。p149、p185 です。
- p229 から p231 もそうですね。防災だけでなく、災害時の対策ができる内容になっています。生活に役立ちます。
- 生活に役立つ内容としては、多様化するキャッシュレス決済のことや、スマホ決済についても紹介されていてよいと思います。p251 です。
- タッチ決済や QR コードは子どもたちの生活に身近になってきていますよね。
- 慎重に取り扱いたい内容もあります。p15 です。考えてみよう「自分にとって家族・家庭とはどのような存在か」という内容です。どうですか。
- 生徒の個人的な背景に配慮が必要な内容ですね。
- 一般的なことは言えると思いますが、自分のことに置き換えて考えてしまったり、実際の生活に即していなかったりと取扱いに慎重にならないといけないですね。
- 導入の「見つめる」の吹き出しの内容も見てください。吹き出しの内容が、偏った個人の考えの時もあり、課題意識を持つことが難しい導入でもあります。
- 他にも、気になるところがあります。p186、p187 を見てください。衣服の補修の説明写真が小さくて、もう少し大きければ分かりやすいと思うのですが。
- 確かにそうですね。基本の技能として大切なところですね。

合意

- 以上で３者全ての協議が終わりました。報告の整理に入ります。

１６：００～　大型テレビに様式を映して観点ごとの内容を整理。
１６：２０～　印刷・確認　→　修正
１６：４０～　鑑文に押印・片付け
１７：００　終了

専門調査部会（中学校　英語）議事録　　記録者（恵良）

令和２年６月２６日（金）　教育センター　　２０６室

１３：４０～　全体会（部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等）
１３：５０～　選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究
１４：１０～　各自の調査研究の読み上げ
　　協議：司会（主幹教諭）

【東京書籍】

・それでは、東京書籍について「選定の観点ごと」に発言をお願いする。

＜内容の範囲及び程度＞

・目標達成に結びつく内容になっており、生徒の発達段階に応じたものとなっている。
・小学校との学習の接続を意識して作成されている。
・言語材料の配置が一新され、目的・場面・状況がきちんと設定された上での主体的で対話的な学習を行いやすくなっている。
・学習指導要領が示す内容及び内容の取扱いの事項を不足なく取り扱われている。

＜内容に関する配慮事項＞

・３学年では SDGｓに基づき、文化や社会的な問題や現象について、他教科の内容とも関連させながら、英語で理解し、思考力・表現力の向上につなぐよう工夫されている。
・単元途中と単元末と学期末という順で、スモールステップを踏みながら、発展的に言語活動が行われるように配慮されている。
・SDGｓなど今日的な課題も多く取り上げられているが、生徒の関心をひく題材が少ないように感じられ、「やりとり」が制限されるような印象を受けた。

＜分量＞

・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。
・１年生には多いように思われる。
・１ページにおける文字の情報量が多く、特別な支援を要する生徒にとっては、混乱を招く恐れがある。

＜使用上の便宜＞

・３学年では写真、グラフ、表などを数多く取り入れ、英語を使って思考力、表現力を高める工夫がされている。
・資料編の Word Room では、語彙がジャンル別に豊富に示され、本体の学習を進める上で関連を持たせて用意されており、学習者が自分の言いたいことを表現できるように配置されている。
・QR コードからと本文や語彙の音源を聞くことができ、映像も視聴可能で、リテリングを行うことを想定して作られている。生徒の自主学習への支援にも配慮されている。
・ページ毎に小学校での既習単語を紹介している。
・文字認識がしやすく、発音方法も簡潔に示されており、わかりやすい。
・単元導入時でのリスニングの取扱いについては、工夫が必要である。

＜印刷・製本等＞

・印刷は鮮明であり、手書き文字に近いフォントが使用されている。

＜選定の観点＞

・小学校の外国語活動及び外国語での学習内容との連携を図るよう、内容、ページ構成などが工夫されている。

・各 Unit の初め（扉）には題材内容を示す大きな写真とともに Goal や Point of View が示され、Unit の終わりには Goal を達成できたかチェックし、生徒が自らの学びを確認する工夫がされている。

・基本文のパタンプラクティスは本文内容とつながったものになっており、学習の意味合いを感じながら行うことができる。

・Read&Think にも新出言語材料があるため、読解や思考を進めることが難しい。

【開隆堂出版】

・それでは、開隆堂について「選定の観点ごと」に発言をお願いする。

＜内容の範囲及び程度＞

・言語材料の配置が一新され、目的・場面・状況がきちんと設定された上での言語活動がしやすくなっている。

・学習指導要領の学年内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げており、目標達成に結びつく内容になっている。

＜内容に関する配慮事項＞

・単元導入では、漫画のようなスタイルを用いて場面をわかりやすく提示し、Think, Retell, Interact のサイクルで「伝え合う能力」、「話し合える能力」、「発表・討論・交渉などを行う能力」を段階的に習得できるようにバランスよく設定されている。

・全学年、英語でやりとりすることに重きを置いた内容が多く、読むことの学習においても、話すこととの関連が意識されている。

・「とびら」で１ページ全面を使って写真が掲載され、導入の言葉や学習目標が明示されている。

・Our Project のテーマの内容が時期や生徒の実態に合わないものもあり、生徒にとっては現実味がなく意欲につながらないものもある。

＜分量＞

・分量は適切である。

＜使用上の便宜＞

・巻末のアクションカードは動詞が文字とイラストで表されているので苦手意識の強い生徒でも活動がしやすい。

・QR コードからと本文や語彙の音源を聞くことができ、映像も視聴可能で、リテリングを行うことを想定して作られている。生徒の自主学習への支援にも配慮されている。

・各ページに音読チェック欄があり、自己評価ができる。

・ページごとに、めあてや活動についてわかりやすく書いており、活動に取り組みやすい。

・４技能５領域別の「できるようになったリスト」が巻末に掲載され、生徒自身が学習の軌跡がわかるようになっており、３年間の学習に見通しをもたせている。

・文法の説明が非常にシンプルで理解しやすい。

＜印刷・製本等＞

・印刷は鮮明であり、手書き文字に近いフォントが使用されている。

・登場人物やイラストが生徒の興味を引く。

・英語、日本語ともに全体的に文字が小さい。

＜選定の観点＞

・SDG s の視点に基づき、現在の生徒の興味関心を喚起する題材が豊富に配置されている。

・小学校外国語活動との連結において、段階的な書字学習や文字と音の関係の学習など初歩的なアプローチが設定されてあり、小学校外国語活動で蓄積した知識・能力を基盤に中学英語へ移行することが可能である。

・語彙や例文のヒントが少なく、幅広い表現活動に繋がりにくい。

【光村図書出版】

＜内容の範囲及び程度＞

・目的・場面・状況がきちんと設定された上での言語活動がしやすくなっており、学年の生徒の発達の段階に適応している。

＜内容に関する配慮事項＞

・教科書本文が３年間を通じたストーリー仕立てになっており、目的や場面に合わせた言語材料の導入がしやすく、生徒の興味関心を引くことができる。

・文法の解説ページがシンプルで分かりやすく、場面設定がなされているので、言語材料の役割も意識できる。

・各 Unit のセクションを見開きで扱い、本文と新出事項や基礎的な練習がそれぞれ配置され、理解・定着が図れるように構成している。

・年３回設定されたプロジェクト型の言語活動 You Can Do It!ではペアやグループでの協働学習が設定されてあり、思考力や表現力の育成が図られている。

＜分　量＞

・分量は適当である。

＜使用上の便宜＞

・リスニング問題は、絵や選択肢を効果的に用いたりして、苦手な生徒にも取り組みやすい構成となっている。

・１学年の Unit３までがイラストによる導入であるため、場面を理解しやすい。

・単元ごとに「めあて」(扉のページ)、「Goal「(まとめの言語活動と振り返り）があり、単元ごと自分の学びの成果を確認できる。

・「学び方ガイド」や「Your Coach」のコーナーを各学年で設け、英語でのコミュニケーションや英語の学び方のヒントを載せている。

・巻末には、Active words があり、活用しやすい。

・QR コードでの音声フォローには本文のみで語句が含まれていないが、ピクチャーカードを見ながら本文の音声を聞くことができ、アニメのように楽しみながら学習できるよう工夫されている。

・１年生の Sound and Letters では、フォニックスがわかりやすく学べるように工夫されている。

・巻末にストーリーテリグがあり、学習した内容を表現しやすい。

＜印刷・製本等＞

・イラストが落ち着いた配色で、優しく刺激が少ない。

・扉のページだけでなく練習問題にも写真が豊富に使われており、より現実的な場面を想起させ、英語を使いたくなる雰囲気を醸し出している。

・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式などが適切である。

＜選定の観点＞

・ＡＩやＳＤＧｓなど今日的な課題も多く取り上げられており、世界の学校の様子やセヴァン・スズキさんのスピーチなど題材が非常に豊富である。

・全体的に内容が学校行事に関わるものであり、生徒たちが慣れ親しみやすい。

・ウェブサイトやポスターなどから自分が必要な情報を探す活動が設定されており、英語学習の意義を感じながら学習に取り組める

・小学校からの接続単元としてのLet’s be friends!では既習表現を短時間で学習できるように端的にまとめている。

・もう少し、取り扱う話題が幅広いとよい。

・CAN-DOリストは当該学年のものだけであるので、３年間を通したものであるとよい。

・本日は、ここまで。次回は、残り３者を中心に研究調査を行い、まとめていく。また学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていく。

令和２年７月６日（月）　教育センター　　２０６室

１３：４０～　全体会（部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等）

１３：５０～　選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

１４：１０～　各自の調査研究の読み上げ

協議：司会（主幹教諭）

【三省堂】

・では、三省堂について。

＜内容の範囲及び程度＞

・基本的内容を丁寧におさえている。

・目標達成に結びつく内容になっている。

・内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。

・学習指導要領の学年内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。

・目的・場面・状況がきちんと設定された上での言語活動がしやすくなっており、言語材料も分かりやすくまとめられている。

・学習指導要領が示す内容及び内容の取扱いの事項を不足なく取り扱い、４技能５領域の能力を総合的に扱い、統合的に活用して思考力、判断力、表現力を育成する内容になっている。

・４技能５領域の能力を活用する活動が多岐にわたり、バランスよく配置されている。各Lessonに

おける can-do リストが明記され、学習者が到達目標を意識して学習に取り組むことができる。（まとめて）

＜内容に関する配慮事項＞

・１単元ごとの内容を関係づけており、生徒にとって身近な場面設定がなされている。
・言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。
・生徒にとって馴染みやすい題材が多く、自己表現したくなるような題材設定がよい。
・書く活動では、予めクラスで協働的に行えるように活動が仕組まれており、自然な形でアクティブラーニングを取り入れることができる。
・１年 Classroom English のページが充実している。
・アルファベットの書き方について段階的に丁寧に導入している。（まとめて）
・各単元の目標の表記が１年生では軽く扱われている。
・文法中心の学習形態が残っている。（本文の目的、場面、状況との関連がない）

＜分量＞

・分量は適切で、活用しやすい。Point と関連させながら、その単元で何を教え、どのように活用するかが分かりやすい。
・十分時間をかけるべきところとそうでないところがわかるように配置されており、適切である。
・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。（まとめて）
・語彙、活動等は充実しているが、授業時数を配慮しているが、全体の情報量が多いため、字が小さく若干煩雑に見える。
・Project の内容が一般的でなく、限定的で、全員の興味を喚起するものではない。

＜使用上の便宜＞

・巻末の付録には、語彙や会話表現などがジャンル別に豊富に示され、本体の学習を進める上で関連を持たせて用意されており、学習者が自分の言いたいことを表現できるように配置されている。
・Take Action!で対話表現を取り扱っているが、対話のテーマが身近で、対話の作りもシンプルで分かりやすく、巻末の資料を用いて対話練習もできる工夫がある。
・書く活動、スモールステップで構造的になっている、表現活動の広がりがある。
・リスニング問題は、絵や選択肢を効果的に用いたりして、段階的にスモールステップで、苦手な生徒にも取り組みやすい構成となっている。
・学年を通して、段階的スモールステップで、手順が型どおり、生徒の思考が広がらない。
・各 Lesson の１ページ目に印象深い絵と分かりやすいタイトルが簡潔に示されており、生徒が期待と興味を抱きながら自然とテキストに入っていける。
・ＱＲコードで本文・語彙などの音声モデルが確認できるため、生徒にとっても活用しやすい。
・場面がわかるような動画が少ない。
・ＱＲコードから動画や音声を視聴することが可能であり、予習や復習などの予備的な学習への支援に配慮されている。
・ページごとにＱＲコードがついており、生徒の家庭学習の助けとなる。
・イラストがアニメーションのようで親しみやすく、表情豊かで魅力的であり場面が容易に想像でき、生徒が関心を持って取り組める。
・各文法のまとめでは、日本語と英語の基本的な違いを、イラストを用いて分かりやすく簡潔に記し

ている。
・書く活動について詳しく説明されているが、生徒が考える余地が少ない。
・活動ごとのマークがあるが種類が多すぎ、いろいろな色のマークが見開き２ページの中に配置されているため、特別な支援を要する生徒には見づらい。

＜印刷・製本等＞
・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。

＜選定の観点＞
・新たな発見があるような題材がない、オーソドックな内容が多い。取り上げた国の数が少ない。
・情報を与えすぎ、ステップを示しすぎ、コミュニケーション活動を促進するような支援が不足している。
・CAN-DO リストは裏表紙に１ページのみ、当該学年のみ
・自然科学、人権、共生などの現代的課題が取り扱われ、多様なものの見方や考え方について触れ、思考力や判断力を促す題材が扱われている。また、自国の文化を発信する題材が盛り込まれ、自国の文化を尊重するとともに、他国の文化にも理解を深め、国際社会に寄与する意識を育てる内容になっている。
・各 lesson のスタートにおいては、音声重視の導入が設定されており、特に小学校との接続がスムーズに行える。
・小学校英語との連結に十分配慮されている。特に、Lesson１～３では小学校英語での既習表現と「文字」が結びつくような内容となっており、小学校での学びを確実に定着させるという意味で効果的である。

【教育出版】

＜内容の範囲及び程度＞
・目標達成に結びつく内容になっている。
・学習指導要領の学年内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
・言語材料が詰め込まれておらず、生徒にとっても負担を感じないものである。また、巻末には Acivities　Plus がついており、様々なシチュエーションで即興性を養う一助になっている。
・学習指導要領が示す内容及び内容の取扱いの事項を不足なく取り扱われている。
・コミュニケーションの目的・状況・場面を意識して、学習者が４技能５領域を活用し、主体的で対話的な学習を行うことができる。
・基本的内容を丁寧に抑えている。（まとめて）
・生徒の発達段階に応じた題材・配列となっていない。（働くことについては２学年が適当。３学年のＬ６で卒業スピーチ、そのあとＬ７でディベートという流れが不自然。３学年の読み物としては「トム・ソーヤー」は軽すぎる。）

＜内容に関する配慮事項＞
・言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。
・ＳＤＧｓなどの今日的課題を多く扱い、内容も多岐に渡っている。特に読み物教材が充実している。
・自己表現を広げる手立てが少ない。
・各 Lesson の扉のページは写真と内容に関した質問のみで、単元目標などが明記されていない。
・lesson 末の文法のまとめに文字の解説が多く読みにくい。家庭学習しづらい。
・取り上げる話題に中学生が関心を持つものがやや少ないように感じられる。

・小学校英語で学習する言語材料が使用されているが、小学校英語からの移行単元としてのSpring Boardの内容だけでは十分な連結を可能としないと考える。
・全学年、ＳＤＧｓに関する内容がやや堅苦しく、生徒が取っつきにくいと感じる。

＜分量＞

・分量は適当である。
・分量が適切で、見やすい。イラストや写真も多くあり、生徒の興味をひくものである。情報量も多すぎず、負担に感じない。
・全体の分量はやや多めである。
・１学年当初の小中をつなぐ段階で、イラストを活用している割に、文字数が多く、英文を読ませる活動が多すぎる。
・適量

＜使用上の便宜＞

・巻末に３年間を見通したCAN-DOリストが掲載されている。
・１年生の教科書に小中連携を考慮して、英語すごろくがついてあり、生徒が英語でやり取りしやすいようになっている。
・Tipsのコーナーがあり、４技能の習熟を目的としたワンポイントコーナーが活用しやすい。
・音読の回数をカウントしてメモする欄がある。
・巻末の付録が豊富で、語彙や会話表現などがジャンル別に示されている。巻末のActivity Plusでは学んだ表現を使い、即興的な会話やゲームを通して、表現の定着を図る活動が設定されている。
・自己表現を制限する、赤シート、赤色マスキングカード、丸暗記。
・５領域の中で、特に新しく示された「話すこと（やりとり）」の力を積み上げるためのカードを使った自己紹介活動や赤色マスキングカードを使って取り組めるActivity Plusコーナーが巻末に付録されている。
・Read Aloudのチェックは、欧米のカウントの仕方を紹介するよい機会である。
・教科書の裏見返しに「Can-do自己チェックリスト」があり、５領域にわたって英語でできるようになる項目が分かりやすい。
・巻末に３年間を見通したCAN-DOリストの内容が、大枠でわかりにくい。
・レッスン最後の「Review」「Task」が本文とページが離れており活用しにくい。
・Key Sentenceがあり、どのように本文でその言語材料が扱われているかは分かりやすいが、実生活のどのような場面で使用するかが見えにくい。
・ＱＲコードでの音声フォローに語句の発音がない。

＜印　刷・製本等＞

・本文など英語表記の文字が小さく見づらい。
・イラストなどやや不鮮明に感じられるイラストの配色が濃く、重い感じがする。

＜選定の観点＞

・１年生のUnit２から、チャットをうまく続けるポイントを紹介して、早々に１分間チャットを導入している。
・Projectの活動内容が、生徒の興味関心や意欲を高めるものとは言えない。（１学年　オリジナル標２学年行ってみたい名所紹介、３学年　ＣＭ紹介など、自分の考えや意見を表す必然性が感じられない。）

・Project を進めるための手立てが不十分である。
・１学年の Project が２つしかない。
・Activities Plus、Grammar など説明のページが多く、文法や語彙が重視されすぎている。
・切って使う活用カードは文字ばかりなので、苦手意識の強い生徒は分かりにくく、インタビューの活動などをするときに困難を感じると思われる。
・全体的に文字が小さい。
・学習指導要領の改訂に伴い、「目的・場面・状況」の設定の中で言語材料が整理され、どのように使用するかが Key Sentence とともに分かりやすく提示されている。しかし、その言語材料を自分事としてどのように発信させるかが若干見えにくいように感じる。
・題材についてはＡＩやＳＤＧｓなど今日的な課題が多く取り入れられているとともに、生徒にとって馴染みやすい題材が多い。そのため、既習の言語材料を活用したアウトプット活動がしやすいのではないかと考える。しかしながら、分量についてはややボリュームがあり、生徒の負担になるのではないかと推測させる。指導の際には、十分に趣旨を踏まえたうえで、扱いたい。
・lesson の終わりの review が教科書内容の要約文の適語補充となっており、自己表現に繋がりにくい。
・中学校英語への導入単元が設定されているが、分量が少なく、移行単元としては不十分であると考えられる。
・Think and Try の会話活動は、最後に自由なやりとりを加えるように工夫をしているが、そのまま教室で使うのは難しいと感じる。

【新興出版社啓林館】

＜内容の範囲及び程度＞
・目標達成に結びつく内容になっている。
・内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。
・学習指導要領の学年内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
・学習指導要領が示す内容及び内容の取扱いの事項を不足なく取り扱われている。
・コミュニケーションの目的・状況・場面を意識して、学習者が４技能５領域を活用し、主体的で対話的な学習を行うことができる。

＜内容に関する配慮事項＞
・取り扱っている話題が豊富である。今日的な課題も多く取り上げられており、生徒にとっても馴染みやすい。取り扱っている国が豊富。
・Unit と Part の冒頭に学習到達目標や４技能５領域を示すマークが明示され、学習者が学習の目標や身に付けるべき技能を意識ながら学習に臨むことができる。
・習得した知識・技能を活用して、課題を解決する場面が設定されている Project では発展学習として、自己紹介や学校紹介、あこがれの職業に関する発表活動などの４技能５領域を統合するコミュニケーション活動が設定されている。
・Practice のコーナーでは、生徒が絵を見ながら興味をもって英文を身につけられるように工夫されている。

＜分量＞
・分量は適当である。シンプルで見やすい。

・基本文はTargetとしてまとめられ、全体的に見やすい。生徒の負担にもならず、使用しやすい。
・全体の分量は、授業時数から見て適切である。本市の１、２年次に習得する内容とほぼ同内容であり、移行の速やかに行うことができる。
・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。
・少ない

＜使用上の便宜＞

・ＱＲコードでの音声フォローが充実している。映像はないが、語句と本文の両方が準備されており、また日本語のみや英語のみの文字でも、表示したりできるので、家庭学習の補助として使いやすい。
学年をとおして、すべての語彙や本文を聞くことができる。
・Partごとに Targetを習熟させるために Get ready, Practice, Useという細かい学習過程がパターン化され、すべての学年が同じ配置となっている。知識・技能の習得、活用・定着という学習の深まりに有効に働くように設定されている。
・more informationは日本語による情報が適宜配置されているのはよいが、英語での記述が少ない。

＜印刷・製本等＞

・Unitごとに色が統一されていて、文字やページが見やすい。
・巻末の前置詞のイメージイラストは分かりやすい。
・文字が小さめでやや不鮮明に感じられる部分がある。

＜選定の観点＞

・Let’s Startでは小学校外国語活動で学んだ語彙や表現を活用し、円滑な連結が行われるように作成されている。音と文字の関係も取扱いがある。
・canの取り扱いが最初の project（自己紹介）のあとという点から、小学校の学びが生かされていない。
・生徒が Projectの活動を自主的に進めるための支援の工夫がほしい。
・Useのコーナーでは、会話の話題や始め方はよいが、会話が続くような工夫が見られない。例示が少ない。
・以上で６者全ての協議が終わった。
市民、学校の意見をみて、部会で取り上げてない意見がないか確認しよう。
・開隆堂の教科書は、表示の仕方がとてもスッキリしていていい。
・光村図書は、音と文字の関係のルールのページが活動を通して学べるようになっている。

・報告の整理に入る。

１６：００～　大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。

１６：２０～　印刷・確認　→　修正

１６：４０～　鑑文に押印・片付け

１７：００　終了

専門調査部会（中学校　道徳）議事録

記録者（阿部）

令和２年６月２９日（月）　教育センター２０２室
１３：３０～　全体会（部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等）
１３：４０～　選定基準の読み合わせ、各自の調査研究を読み上げ
１３：５０～　協議開始（司会：副部長）

【東京書籍】

・　まずは東京書籍について発言をお願いします。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全員（合意）

・　次に内容に関する配慮事項ですがいかがですか。巻頭の見開きについてはいかがですか。
・　巻頭の見開きに関しては、東京書籍の特徴的なものだと思います。
・　問題解決的な学習と話合い活動についてはどうですか。
・　これは少し違う内容のものだと思いますので別々に記述した方がいいと思います。
・　別々に記述するということでいいですか。

全員（同意）

・　では、分量についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全員（合意）

・　使用上の便宜についてはいかがですか。
・　「ホワイトボード」や「心情円盤」のような付録があり、話合い活動で活用しやすいと思います。

全員（合意）

・　「つぶやき」欄についてはいかがですか。使いにくいという意見もありますが。
・　どのように活用していいかわかりにくいと思います。

全員（合意）

・　学期ごとの振り返りに関してはどうですか。
・　これによって生徒の自己評価や授業の評価に使うことができると思います。

全員（同意）

・　印刷・製本についてはいかがですか。みなさん意見が同じようにも思いますが。
・　印刷や字体はいいと思います。
・　教材によって、段組みが違って読みにくいのではないかという意見がありましたが。
・　そうですね、読みにくいですね、文字の大きさも違いますし。

全員（合意）

・　選定の観点についてはいかがですか。「考えよう」「自分を見つめよう」の記述はこれでいいですか。
・　これでいいと思います。
・　次に「ＡＣＴＩＯＮ」の利用方法に関してはいかがですか。
・　役割演技などの体験的な学習ができ、いい内容だと思います。
・　東京書籍については、これでよいですか。

全員（合意）

【教育出版】

・　次は教育出版です。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全員（合意）
・　内容に関する配慮事項ですがいかがですか。
・　話合い活動を活発に行うための手引きの掲載が少なく、議論が深まりにくいかもしれません。
全員（合意）
・　挿絵や写真に関することはいかがですか。
・　効果的に使用されていると思います。
全員（合意）
・　では、分量についてはいかがですか。特に問題はありませんか。
全員（合意）
・　使用上の便宜についてはいかがですか。課題は、生徒の記述する所が少ないというところでしょうか。
・　根本的に少ないと思うので記述していいのではないでしょうか。
全員（合意）
・　印刷・製本についてはいかがですか。特に問題はありませんか。
全員（合意）
・　その他で何かありますか。本市にゆかりのあるスポーツ選手は重要ですね。
・　そうですね、竹下選手。大事だと思います。
・　教材名の下の導入になるような問いについてはどうですか。重要だと思いますが。
全員（合意）
・　「学びの道しるべ」に関してはいかがですか。
・　若年教員にもというところがポイントだと思いますので、それを残した方がいいと思います。
・　「道徳の学びを振り返ろう」では、生徒の道徳科に関する成長の様子は見とりにくいと思います。
全員（合意）
・　教育出版はこれでよいですか。
全員（合意）

【光村図書出版】
・　次は光村図書出版です。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありませんか。
全員（合意）
・　内容に関する配慮事項ですがいかがですか。
・　小学校の定番教材が付録教材として設定されているのがおもしろいですね。
・　学び直しや自分の成長を振り返ることができるようになっていると思います。
・　３学年とも「道徳の授業を始めよう！」、「道徳の学びを振り返ろう」があって、１年間の見通しをもって取り組むことができるようになっていると思います。
・　では、分量についてはいかがですか。特に問題はありませんか。
全員（合意）
・　使用上の便宜についてはいかがですか。
・　イラスト等でわかりやすく教材が示してあって、生徒が内容を理解しやすいと思います。
・　生徒は興味関心を高めやすいんではないかと思います。
・　「つなげよう」の発問に関してはいかがですか。
・　点線で囲まれており、補足的な印象をうけます。
・　全学年ですか。
・　そうですね。

全員（合意）

・　印刷・製本についてはいかがですか。
・　教科書の文字が大きかったり小さかったり、統一感がない感じがして読みにくいです。
・　そうですね。そんな感じがしますね。
・　それから、教材が見開きになっておらず、見にくいものもあります。

全員（合意）

・　その他で何かありますか。
・　「深めたいむ」を全学年に設け、３年間を通していじめや情報モラルについて考えられるようになっています。
・　著名人の直筆メッセージの掲載についてもご意見をいただいていますが。また、気になるところについてはありませんか。
・　特に気になるところはありませんが。
・　では、光村図書出版についてはこれでよいですか。

全員（合意）

【日本文教出版】

・　次に日本文教出版です。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全員（合意）

・　内容に関する配慮事項ですがいかがですか。
・　「『いじめ』と向き合う」ことについて重点を置いていて、直接的・間接的にいじめについて考えることで、多面的・多角的に学べるように構成されています。
・　「考えてみよう」、「自分に＋１（プラスワン）」という流れで発問が設定されていて、「主発問につながる問い」から「自分事として考える問い」の順で、学習の流れがわかりやすいです。
・　それは、全学年ですか。
・　そうですね。
・　では、分量についてはいかがですか。特に問題はありませんか。
・　教材数・一教材の分量ともに適切だと思います。

全員（合意）

・　使用上の便宜についてはいかがですか。
・　タイトルと同時に登場人物が紹介されています。これで内容把握が行いやすく、議論の時間を確保しやすいと思います。
・　「プラットホーム」等が多く掲載されていて、学習をより深めることができるようになっていると思います。
・　別冊「道徳ノート」はいかがですか。賛否両論考えられますが。
・　現在の物とは違い、発問欄が空白になっていて、自由度が高まったと思います。各ページに自己評価の欄や授業実施日の記入欄があるので、学習状況の評価や自己の成長への気付きにつながると思います。
・　しかし、自由度が高い分、若年の先生は活用に苦慮することも考えられますね。
・　両論を併記してはいかがですか。

全員（合意）

・　印刷・製本についてはいかがですか。特によろしいですか。

全員（合意）

・　その他で何かありますか。

・　教材の終わりの「考えてみよう」は、中心発問的な問いになっていてわかりやすいです。
・　教材ごとに主題名、キーフレーズみたいなものが掲載されており、この教材で何を考えるかを生徒が把握しやすくなっていると思います。
・　「学習の進め方」についてはいかがでしょうか。
・　グループでの話合いや問題解決的な学習や体験的な学習を写真なんかで分かりやすく提示しています。
・　日本文教出版についてはこれでよいですか。

全員（合意）

【学研教育みらい】

・　次に学研教育みらいです。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全員（合意）

・　内容に関する配慮事項ですがいかがですか。
・　各教材の終わりに「深めよう」「クローズアップ」「クローズアッププラス」が配置されていて、多様な学習ができるようになっています。
・　「２２の鍵」では、３年間を通して系統的に学習できる構成になっていますね。

全員（合意）

・　では、分量についてはいかがですか。特に問題はありませんか。
・　教材数や一教材の分量ともに適切だと思います。

全員（合意）

・　使用上の便宜についてはいかがですか。
・　「マイプロフィール」、「心の四季」、「学びの記録」が１年間の成長を感じられるものになっていると思います。

全員（合意）

・　教材名の前に「主題名」があったりなかったり、書きぶりが統一されていないので取り扱いにくいのではないでしょうか。

全員（合意）

・　「メモ」欄がどのように活用してよいか分かりづらくありませんか。

全員（合意）

・　印刷・製本についてはいかがですか。
・　文字の大きさや行間はいいと思います。教材名もが大きくて見やすいです。

全員（合意）

・　その他、いかがですか。
・　本市にゆかりのある俳優さんを取り上げているのはいいと思います。
・　なるほど、そうですね。いいと思います。
・　巻末に年間で４回、振り返る箇所があり、評価の参考にできるのではないでしょうか。活用できると思います。

全員（合意）

・　学研教育みらいについてはこれでよいですか。

全員（合意）

【廣済堂あかつき】

・　次に廣済堂あかつきです。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全員（合意）

・　内容に関する配慮事項ですがいかがですか。

・　各教材に「考える・話し合う」が示されています。内容の理解や主発問につながる問いなどがあって、自分の事として考えるための１単位時間の学習の流れが具体的に示されています。

・　そうですね、かなり具体的ですね。

・　その他、特によろしいですか。

全員（合意）

・　では、分量についてはいかがですか。

・　教材数はいいと思うのですが、読み物教材の少し長いものもあると思います。生徒によっては理解に時間がかかる気がします。

・　そうですね。難しいと思います。

全員（合意）

・　使用上の便宜についてはいかがですか。

・　定番の教材が多いと思います。これまでの授業研究の豊富な教材が多いので、若い先生方も参考にしやすいのではないでしょうか。

全員（合意）

・　別冊「中学生の道徳ノート」は、罫線しかないので使用しづらいと思います。もう一工夫あった方がいいのではないでしょうか。

・　そうですね、使い方はかなり難しいと思いますね。

全員（合意）

・　印刷・製本についてはいかがですか。

・　基本的にはいいとは思いますが、見開きで始まらない教材があるなど、教材にすっと入っていきにくいと思います。

・　集中しにくいですね。

全員（合意）

・　その他で何かありませんか。

・　教材の最後に、偉人や著名人の言葉があって、学習中に活用できると思います。

全員（合意）

・　別冊「中学生の道徳ノート」には、読みもの資料やアンケートなどが充実していると思います。

・　そうですね。充実していると思います。

・　学習活動の工夫についての手引きとなるような記載がないので学習が進めにくい先生もいるかもしれません。

・　そうですね、もう少し細かい記述があった方がいいかもしれませんね。

・　読むものが多いような気がします。

全員（合意）

・　廣済堂あかつきについてはこれでよいですか。

全員（合意）

【日本教科書】

・　次に日本教科書です。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全員（合意）

・　内容に関する配慮事項ですがいかがですか。

・　「もっと知りたい」、「考えてみよう」では、教材に合った資料が掲載されています。生徒が議論や話し合いがしやすいのではないでしょうか。

全員（合意）

・　では、分量についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全員（合意）

・　使用上の便宜についてはいかがですか。

・　教材の終わりの「考え、話し合ってみよう　そして深めよう」では、内容理解や主発問につながる問いとなっていてわかりやすいです。

・　「もっと知りたい」「話してみよう」などのコラムで道徳的価値について深く考える工夫もありますね。

全員（合意）

・　内容項目順に配列されているので、学校で年間計画を作成するときに配慮が必要となるのではないでしょうか。

全員（合意）

・　印刷・製本についてはいかがですか。

・　全体的にはいいと思うのですが、一部で背景の写真と文字が重なっていて見えにくい所があります。

・　具体的にはどこですか。

・　３年生の２７ページなどですね。

全員（合意）

・　その他で何かありますか。

・　文科省作成の教材を多く取り入れてあります。授業研究も豊富なので、若い先生方も参考にしやすいのではないでしょうか。

全員（合意）

・　「考え、話し合ってみよう　そして深めよう」では、生徒が自分自身を見つめる発問が少ないので、自分の事として考えにくいのではないでしょうか。

全員（合意）

・　日本教科書についてはこれでよいですか。

全員（合意）

・　本日はこれで終わります。次回は市民の意見や現場の意見を反映させていくようにします。よろしくお願いします。お疲れさまでした。

【令和２年７月８日（水）　教育センター２０２室】

１３：３０～　市民の意見、学校からの意見を各自で確認

１５：００～　協議開始（司会：副部長）

【東京書籍】

・　まずは東京書籍について発言をお願いします。

・　現場の意見から、「ホワイトボード」や「心情円盤」では、話すことが苦手な生徒でも自分の気持ちを伝

えやすく、話合い活動で活用しやすいのではないかという意見がありました。その通りだと思いますがいかがでしょうか。

・　そうですね、特に「心情円盤」は葛藤教材などで活用すると効果的だと思います。

・　では、この意見を使用上の便宜に記載するということでよろしいですか。

全員（同意）

・　他はよろしいでしょうか。

全員（合意）

【教育出版】

・　次は教育出版です。

・　市民の意見の中に、都道府県にゆかりの人などが載せてあり親しみやすいというものがありました。私たちの話の中でも同じような意見がありましたので、これは取り上げるべきではないでしょうか。

全員（合意）

・　他はよろしいでしょうか。

全員（合意）

【光村図書出版】

・　次は光村図書出版です。

・　学校の意見として、教材がシーズン１～３になっていて、時期に応じて利用できる内容になっているというものがありました。その通りだと思います。

・　そうですね。これは特徴的でわかりやすいと思います。

・　では、使用上の便宜に記載するということでよろしいでしょうか。

全員（合意）

・　他はよろしいでしょうか。

全員（合意）

【日本文教出版】

・　次に日本文教出版です。

・　学校からの意見の中に、別冊「道徳ノート」は、教材ごとに１ページで構成されていて、生徒がそれを書くことで自分自身の考えを振り返りやすいというものがありました。

・　その他にも、教員は生徒の考えや変容を把握しやすいという意見もありました。

・　これは教科特有の観点ということでよろしいですか。

全員（合意）

・　他はよろしいですか。

全員（合意）

【学研教育みらい】

・　次に学研教育みらいです。

・　特になかったように思います。いかがでしたか。

・　そうですね、特になかったと思います。

・　みなさんもよろしいでしょうか。

全員（合意）

【廣済堂あかつき】

・　次に廣済堂あかつきです。
・　学校からの意見で、５０分で授業するには、内容量の多い読み物があるというものがありました。その通りだと感じましたがいかがですか。
・　生徒によっては、話の内容を理解するのが難しそうですね。

全員（合意）

・　他はよろしいですか。

全員（合意）

【日本教科書】

・　次に日本教科書です。
・　学校から巻末の「心の成長を振り返りましょう」での「レベル」という記述は、道徳科の授業の中では適切ではないのではないかという意見がありました。私も同感です。
・　そうですね、レベルというのはどうかと思います。
・　市民の意見の中にも、自己評価表ので「数値による評価はしない教科」となっている道徳科と矛盾しているのではないかというものもありました。
・　同じような内容ですが。
・　双方の意見をきちんと併記した方がいいのではないでしょうか。

全員（合意）

・　他はよろしいですか。

全員（合意）

・　以上で７者全ての協議が終わりました。報告の整理に入ります。

１６：００～　　大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。

１６：２０～　　印刷・確認　→　修正

１６：４０～　　鑑文に押印・片付け

１７：００　　終了